

青梅市社会教育委員会議5月定例会会議録

平成30年5月15日
201会議室
出席者 委員 9名
(欠席者 委員 1名)
事務局 3名

～定例会開会前、委嘱状交付式を実施～

1 開 会

議長選出まで社会教育課長が議事進行

2 協議事項

(1) 役員の選出について

～委員の互選にて、議長に宮野委員、副議長に金子委員を選出～
～東京都市町村社会教育委員連絡協議会理事は議長が兼務とする～

(2) 平成30年度全国社会教育委員連合表彰候補者の推薦について

(協議資料 1)

【事務局】事務局から概要説明。

～表彰対象の在職期間が5年以上の金子委員(4期8年)を推薦すること
とで決定～

(3) 青梅市生涯学習推進市民会議委員の推薦について (協議資料 2)

社会教育委員の改選(平成30年5月13日)に伴う推薦

ア 任 期 平成30年5月14日～平成30年9月30日まで

イ 推薦者

【事務局】事務局から概要説明。

～栗原委員を推薦すること決定～

～今回の任期は前委員の残任期間を引き継ぐものである。～

(4) 青梅市スポーツ振興審議会委員の推薦について (協議資料 3)

任期満了(平成30年5月13日)に伴う推薦。

ア 任 期 平成30年5月14日～平成32年5月13日まで

イ 推薦者

【事務局】事務局から概要説明。

～市川委員を推薦すること決定～

(5) 青梅市美術館運営委員会委員の推薦について

社会教育委員の改選（平成30年5月13日）に伴う推薦

ア 任 期 平成30年5月14日～平成30年10月6日まで

イ 推薦者

【事務局】事務局から概要説明。

～横手委員を推薦することで決定～

～今回の任期は前委員の残任期間を引き継ぐものである。～

(6) その他

特になし

3 報告事項

(1) 派遣委員について

ア 青梅市生涯学習推進市民会議委員

栗原委員 任期 平成30年5月14日～平成30年9月30日

イ 青梅市美術館運営委員会委員

横手委員 任期 平成30年5月14日～平成30年10月6日

ウ 青梅市放課後子ども教室推進事業運営委員会委員

金子委員 任期 平成29年7月10日～平成31年7月9日

エ 青梅市図書館運営協議会委員

小花委員 任期 平成29年10月1日～平成31年9月30日

オ 青梅市スポーツ振興審議会委員

市川委員 任期 平成30年5月14日～平成32年5月13日

【事務局】事務局から各委員の概要説明。

(2) 平成29年度社会教育委員会議案事項等記録について

(報告資料 1)

【事務局】事務局から概要説明。新しい委員には今後の活動の参考としていただきたい。前期から引き続きの委員については内容を確認いただきたい。

(3) 平成30年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について

ア 日 時 平成30年4月21日（土） 午後1時30分～

イ 場 所 女性総合センターアイム（立川市）

ウ 出席者 新藤議長、森田委員、小花委員、金子委員、

園田委員、横手委員

随行 土屋、田中

【議 長】参加された皆様から感想等伺いたい。

【委 員】講演会がよく、色々な話も聞けて、勉強になった。

【委 員】講演は、生涯学習に視点を置いた話であった。印象に残った事と

して、このままだと超高齢化社会になっていき、今5歳の子どもの平均寿命が120歳という話があった。平均寿命も延びると、生涯学習の幅も長くなっていき、大事になってくるのではないかと感じた。また、今後、東京都市町村社会教育委員連絡協議会の、役員がまわってくるので、どのように総会が行われているのかというところも見てきた。

【委員】平成30年度予算案の中で、前年と金額が大きく違うところがあり、各市色々と事情が違うことが分かった。講演会では、人生100年時代と言われる中で、子ども達が100歳以上生きるという統計を見せられと、50代ではまだまだこれからと感じた。

【議長】平均寿命120歳という話が出てきたが、生まれてくる子どもの平均寿命は100歳を超えるということになるのか。

【委員】統計上の問題であって、基本的にはそうならない。人間の生命体で言えば、120歳はきちんと生活できる。机上論の展開だと、すべての環境が整えば、寿命は120歳くらいまで延びる。しかし、生物学上・医学上まだ結論を出すのは早い。100年後の日本がどうなっているかということとなると、行政や社会計画などのすべてを変えなくてはならない。早め早めにやるということはいいことだが、日本も少子化と高齢化が一緒になってきているので、今までの人口動態を下部修正、上位修正しながら、人口問題研究所でも、試算を調整してきた。そうすると、行政は10年後、20年後はわかるが、30～40年後のことは数字上わかるが、急に社会変動がおきてしまうと、行政は追いつけない。行政計画の部分で言えば、単年度計画があって、3～5年の中期計画があって、7～10年の長期計画があるが、今長期計画を立てても、世の中が変わるので、そぐわない。単年度と中期計画の中のやりくりで、教育計画や行政計画をすべて行っていく。統計的データなど科学的な予測を入れないと、思いつきのデータではあおるだけで色々な問題が出てくる。行政サイドもラインを引いている状況である。

【議長】平均寿命が延びていく中で、健康寿命をどうのばしていくかというケアを考えていかなければいけないという話も聞いたことがあるが、イメージがつかない部分もある。

【委員】昔寿命は、生まれてからの余命を意味していた。今、寿命という言葉の中で、健康寿命という言葉が広く使われている。人生は長く80～90年の時代だが、最後の後期高齢期では、寝たきりなのか、それとも自立できているのかという健康寿命が福祉の世界ではクローズアップされている。福祉国家としてどうするのかという課題が大きくある。そこには延命治療等の倫理の問題も出てくる。また介護保険等のシステムに頼っていいのかという問題もある。生涯学習的に言えば、人間は自己実現しながら学び続け生きていくために、自立をしなければならないというのが学習基盤社会の基本である。今後、社会教育、生涯学習、福祉を含めて考えていかなければならない。

【事務局】事務局から概要説明。

(4) 生涯学習フェスティバル～釜の淵新緑祭 2018～の開催結果について
(報告資料 2)

【事務局】事務局から概要説明。

【委員】2日目の午後雨も降ってきたが、比較的天気恵まれた。みなさん熱心にやっていた。

【議長】釜の淵市民館が統合されて閉鎖されても、新しい施設で行う等支障は出てこないのか。

【事務局】釜の淵市民館の跡地については、検討段階である。来年は、できれば、最後を記念して新緑祭を行いたい考えではある。新生涯学習施設(仮称)は、4月にオープニングイベント、フル稼働は5月と考えている。フル稼働すれば、統合施設は閉鎖となる。ゴールデンウィーク明け、次の週が新緑祭となるので、施設の位置づけは社会教育施設から普通財産になるが、使用できるのではないかと考えている。

【委員】昔は市民館も使用して、新緑祭を行っていたと思うが。

【事務局】当時は、発表会場として公園広場と釜の淵市民館、当日参加の教室を市民会館で行っていた。

(5) 青梅市生涯学習まちづくり出前講座について (報告資料 3)

【事務局】事務局から概要説明。

(6) 平成30年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会役員会等事業日程
について (報告資料 4)

【事務局】事務局から概要説明。ブロック研修会が、瑞穂町にて10月頃実施予定。関東甲信越社会教育研究大会が、11月15日、16日に開かれる予定。

(7) 平成30年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会 第1回役員会・第1回拡大役員会の開催について (報告資料 5)

ア 日時 平成30年5月22日(火)午後3時から

イ 場所 武蔵野プレイス フォーラム(4階)

ウ 参加者

～宮野議長、事務局土屋が出席予定～

(8) 生涯学習事業実施予定・結果 (報告資料 6)

【事務局】事務局から概要説明。

(9) 青梅市社会教育委員会議4月定例会会議録について (報告資料 7)

【事務局】事務局から概要説明。

(10) その他
特になし

4 その他

【事務局】 その他の配布物について説明。

【議長】 委員の皆様から何かありましたら、ご発言いただきたい。

【委員】 会議録について、次回からは報告事項ではなく、協議事項として会議録（案）にして、会議の冒頭に行くか、事前にメール等で周知し会議の際、持ってくるようにしてはどうか。また、出席者数だけでなく、欠席者数も示した方がよいのでは。

【議長】 事務局は、今の意見も踏まえ、次回提出していただきたい。

次回定例会 6月19日（火）